

WiSM トラブルシューティングに関する FAQ

内容

概要

[Cisco 無線サービス モジュール \(WiSM \) とは何ですか。](#)

[WiSM モジュールを Cisco 統合サービス ルータ \(ISR \) と一緒に使用できますか。](#)

[Cisco WiSM と互換性のあるデバイスには何がありますか。](#)

[Cisco WiSM に関する詳細な情報はどこで入手できますか。](#)

[メッシュ アクセス ポイント \(AP \) は WiSM カードと互換性がありますか。](#)

[Cisco WiSM のインストール方法に関する説明はどこで入手できますか。](#)

[WiSM を工場出荷時のデフォルト設定に戻すにはどうすればよいですか。](#)

[1 つの Cisco WiSM モジュールが 2 つの WLAN コントローラで構成されているというのは本当ですか。](#)

[Cisco 6500 シリーズ WiSM モジュールで、ファームウェアバージョン 4.0.155.5 が 1 つの無線周波数 \(RF \) グループ名に設定されていて、自動 RF を使用するように設定されている。コントローラは RF グループ内で自身を RF グループリーダーとして認識できますが、2 つのコントローラを認識できません。何が問題ですか。](#)

[現在、2 台の 6500 コアスイッチ \(レイヤ 2 で分離 \) を含む WLAN セットアップを作成しており、どちらもコアごとに 1 台の WiSM ブレードを備えています。一方のコア \(WiSM \) をアクティブ側として使用し、もう一方の WiSM をバックアップとして使用します。ワイヤレスクライアントのサービスに使用する Lightweight アクセス ポイント \(LAP \) を最大 300 台実行する予定です。2 つの質問があります。a\) AP マネージャのアドレスは、管理インターフェイスと異なるサブネット上にありますか。それとも、同じサブネット上にある必要がありますか。b\) 複数の AP マネージャインターフェイスを異なるサブネットに配置し、ワイヤレス IP 電話のローミング機能をフルに備える \(アクティブコールを失わない \) 方法はありますか。](#)

[60 台の Lightweight アクセス ポイント \(LAP \) を提供する 2 つの WiSM があります。30 台の LAP を WiSM 1 に登録し、他の 30 台の LAP を WiSM 2 に登録したいと考えています。なぜかこれが起こらないからです。すべての LAP が同じ WiSM に登録されます。両方の WiSM が同じサブネットにあります。これをトラブルシューティングするにはどうすればよいですか。](#)

[リンク集約 \(LAG \) 機能は Cisco WiSM でサポートされていますか。](#)

[Cisco WiSM と Cisco Catalyst 6500 スーパーバイザはどのようにして相互に通信するのですか。](#)

[WiSM カードのステータスを確認するにはどうしたらいいですか。設定内容をトラブルシューティングするにはどのようなコマンドが使用できますか。](#)

[設定をトラブルシューティングするにはどのような debug コマンドが有効ですか。](#)

[WiSM カードの LED のパターンは何を意味していますか。](#)

[Cisco WiSM をサポートするために最小限必要なソフトウェア要件には何がありますか。](#)

[Cisco WiSM モジュールが Catalyst 6500 に正しくインストールされているかどうかを調べるには、どのようにしたらよいですか。](#)

[Lightweight アクセス ポイント プロトコル \(LWAPP \) を実行しているアクセス ポイントの管理に 6500 WiSM カードを使用している場合、WiSM に不具合が発生したときにはどのようなことが起こりますか。管理機能だけでなく、全体が機能しなくなりますか。](#)

[WiSM ブレードでリンク集約 \(LAG \) をディセーブルにする方法はありますか。ドロップダウンメニューからは \(ディセーブルがなく \) イネーブルにすることしかできません。](#)

概要

このドキュメントでは、Wireless Services Module (WiSM; 無線サービス モジュール) のトラブルシューティングに関する FAQ について説明します。

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Q. Cisco Wireless Services Module(WiSM)とは何ですか。

A. Cisco WiSMは、Cisco Unified Wireless Networkのコンポーネントです。WiSM は業界で最も革新的で、統合化された、スケーラブルな無線ソリューションです。Cisco Catalyst 6500 シリーズの WiSM は、ビジネスクリティカルな Wireless LAN (WLAN; 無線 LAN) に対して、比類のないセキュリティ、可動性、冗長性、使い勝手の良さを備えています。Cisco WiSM は、Cisco Aironet(R) シリーズの Lightweight アクセス ポイント、Cisco Wireless Control System (WCS)、および Cisco Wireless Location Appliance と一緒に動作し、ミッションクリティカルな無線でのデータ、音声、ビデオ アプリケーションをサポートする、安全で統合化された無線ソリューションです。Cisco WiSM は、Catalyst 6500 シリーズ スイッチの 1 スロットを占有します。

Q. WiSMモジュールをCiscoサービス統合型ルータ(ISR)とともに使用できますか。

A. いいえ。Cisco WiSMはCisco ISRにインストールできません。WiSM と互換性があるのは Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチと Cisco Catalyst 6500 スーパーバイザ エンジン 720 だけです (スーパーバイザ エンジン 720 のすべてのバージョンに対応します)。また、WiSM は、Cisco IOS(R) ソフトウェア リリース 12.2(18)SXF5 が稼働している場合のみ Cisco 7600 ルータもサポートしています。

Cisco ISR には、Wireless LAN Controller Module (WLCM; 無線 LAN コントローラ モジュール) をインストールできません。WLCM の詳細については、『[Cisco WLAN コントローラ ネットワーク モジュール機能ガイド](#)』を参照してください。

Q. Cisco WiSMと互換性のあるデバイスはどれですか。

A. Cisco WiSMがインストールされているCatalystシャーシには、スーパーバイザ720モジュールが必要です。次の表に、Cisco WiSM 用にサポートされているスロットを示します。

| スロット | 6503-E | 6504-E | 6506 | 6509 | 6513 |
|-------|--------|--------|------|------|------|
| 1-3 | X | X | X | X | |
| 4 | | X | X | X | |
| 5-6 | | | X | X | |
| 7-8 | | | | X | |
| 9 ミリ秒 | | | | X | X |
| 10-13 | | | | | X |

また、WiSM は、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.2(18)SXF5 が稼働している Cisco 7600 ルータでもサポートされています。

Q. Cisco WiSMの詳細はどこで調べられますか。

A. Cisco WiSMの詳細については、[Cisco Catalyst 6500シリーズワイヤレスサービスモジュールに関するQ&Aを参照してください。](#)

Q.メッシュアクセスポイント(AP)はWiSMカードと互換性がありますか。

A.はい。メッシュAPはLightweight Access Point Protocol(LWAPP)に基づいて動作するため、これらのAPはWiSMカードと互換性があります。一般的には、LWAPPに対応しているすべてのAPはCisco WiSMカードと互換性があります。

Q. Cisco WiSMのインストール方法に関するインストール手順はどこで入手できますか。

A.『[Catalyst 6500シリーズスイッチワイヤレスサービスモジュールのインストールと設定ノート](#)』の「[WiSMのインストール](#)」セクションでは、Cisco WiSMのインストールに必要な手順について説明しています。

Q. WiSMを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするにはどうすればよいですか。

A. WiSMコントローラを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、次の手順を実行します。

1. WiSM コントローラの CLI で reset system と入力します。
2. 設定の変更を保存する必要があるかどうかを確認するプロンプトで、YまたはNと入力します。ユニットがリブートします。
3. ユーザ名をたずねられたら、recover-config と入力すると、工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。Cisco WLAN コントローラがリブートして、次のメッセージが表示されます。

Welcome to the Cisco WLAN Solution Wizard
Configuration Tool

4. これで、WiSM が工場出荷時のデフォルトにリセットされました。新しい設定を入力するには、設定ウィザードを使用してください。

Q. 1つのCisco WiSMモジュールが2つのWLANコントローラで構成されていることは本当ですか。

A.はい。Cisco WiSM は、2つのCisco 4404 コントローラで構成されています。1つ目のコントローラをWiSM-Aカードとし、2つ目のコントローラをWiSM-Bカードとします。インターフェイスとIPアドレスの割り当ては、それぞれのカードで別々に考慮する必要があります。WiSM-Aでは150のアクセスポイントを管理します。また、WiSM-Bでは別の150のアクセスポイントを管理します。これらのコントローラは、モビリティグループで一緒にグループ化して、クラスタを構成できます。

Q. Cisco 6500シリーズWiSMモジュールを使用していて、ファームウェアバージョンが4.0.155.5で、1つの無線周波数(RF)グループ名が設定されていて、自動RFを使用しています。コントローラはRFグループ内で自身をRFグループリーダーとして認識できますが、2つのコントローラを認識できません。何が問題ですか。

A. WiSMの各コントローラは、アクセスポイントが関連付けられている場合にのみ、他のグループを認識します。1つの解決策は、1つのアクセスポイントを各コントローラに移動することです。

。両方のコントローラにアクセスポイントが関連付けられると、各コントローラは2つのコントローラの表示を開始します。

Q.現在、2台の6500コアスイッチ（レイヤ2で分離）を含むWLANセットアップを作成しており、どちらもコアごとに1台のWiSMブレードを備えています。一方のコア(WiSM)をアクティブ側として使用し、もう一方のWiSMをバックアップとして使用します。ワイヤレスクライアントのサービスに使用するLightweightアクセスポイント(LAP)を最大300台実行する予定です。2つの質問があります。a) APマネージャのアドレスは、管理インターフェイスと異なるサブネット上にありますか。それとも、同じサブネット上にある必要がありますか。b)複数のAPマネージャインターフェイスを異なるサブネットに配置し、ワイヤレスIP電話のローミング機能をフルに備える（アクティブコールを失わない）方法がありますか。

A.a) APマネージャインターフェイスと管理インターフェイスの両方を同じサブネット上に配置できます。重要なのは、管理インターフェイスとAPマネージャインターフェイスがLAPから到達可能である必要があることです。通常、管理インターフェイスと同じ VLAN または IP サブネット上で設定されていますが、これは要件ではありません。

b)いいえ。複数のAPマネージャインターフェイスが最大数のLAPをサポートするように設定されている場合、すべてのAPマネージャインターフェイスが同じサブネット上にある必要があります。LAPとAPマネージャの間のレイヤ3接続と、ワイヤレスLANコントローラ(WLC)の管理インターフェイスが必要です。LAPは、引き続き異なるサブネット上に存在するように設定できます。

Q. 60台のLightweightアクセスポイント(LAP)に対応する2つのWiSMがあります。30台のLAPをWiSM 1に登録し、他の30台のLAPをWiSM 2に登録したいと考えています。なぜかこれが起こらないからです。すべてのLAPが同じWiSMに登録されます。両方のWiSMが同じサブネットにあります。これをトラブルシューティングするにはどうすればよいですか。

A. LAPが到達できるコントローラが複数ある場合、LAPは各コントローラのIPアドレスにLightweight Access Point Protocol(LWAPP)ディスカバリ要求を送信します。ワイヤレスLANコントローラ(WLC)のLWAPPディスカバリ応答では、WLCは次の情報を埋め込みます。

- 現在のLAPの負荷に関する情報（そのときWLCに加入しているLAPの数）
- LAPの容量
- WLCに接続されているワイヤレスクライアントの数

続いて、LAPは、負荷が最小のWLC（使用可能なLAPの容量が最大のWLC）への加入を試みます。さらに、LAPは、WLCに加入すると、モビリティグループ内の他のWLCのIPアドレスを加入したWLCから取得します。続いて、APは、モビリティグループ内の各WLCに対してLWAPPプライマリディスカバリ要求を送信します。WLCは、プライマリディスカバリ応答をAPに返します。プライマリディスカバリ応答には、WLCのタイプ、合計容量、現在のAPの負荷に関する情報が含まれます。WLCでAP Fallbackパラメータが有効になっている場合は、APは負荷の少ないWLCに移動できます。

また、LAPを特定のWLCに接続させたい場合は、最初にLAPを用意する際に、プライマリ、セカンダリ、およびターシャリコントローラの名前を設定できます。この方法では、LAPは配置されると、プライマリとしてマークされているWLCを探して、そのWLCへの登録を実行します。プライマリWLCが使用できない場合は、セカンダリWLCへの登録を試みる、といった形で処理を行います。

Q. Link Aggregation(LAG)機能はCisco WiSMでサポートされていますか。

A. LAGは、コントローラのすべてのディストリビューションポートを1つのEtherChannelにバンドルします。これにより、APの機能が完全に動作するために必要なAPマネージャインターフェイスの数が削減されます。LAGをイネーブルにすると、システムがポートの冗長性をダイナミックに管理し、ユーザに対して透過的にアクセスポイントのロードバランシングを行います。

LAGは、Cisco WiSMコントローラで自動的にイネーブルにされます。LAGを使用しない場合、コントローラの各ディストリビューションシステムポートでは、最大48のアクセスポイントがサポートされます。LAGをイネーブルにすると、各Cisco WiSMコントローラ上の論理ポートで最大150台のアクセスポイントをサポートできます。LAGを使用すると、各インターフェイスのプライマリポートやセカンダリポートを設定する必要がなくなるため、コントローラの設定が簡単になります。コントローラポートのいずれかで不具合が発生すると、トラフィックが自動的に他のいずれかのポートに移行されます。コントローラポートが1つでも機能していれば、システムは動作を継続し、アクセスポイントはネットワークに接続されたままになるため、無線クライアントはデータの送受信を継続できます。

Q. Cisco WiSMとCisco Catalyst 6500スーパーバイザはどのように通信するのですか。

A. Cisco WiSMは、Wireless Control Protocol(WCP)を使用してCisco Catalyst 6500スーパーバイザと通信します。WCPとは、スーパーバイザとCisco WiSMコントローラとの間で通信を行うための、UDPベースの新しい内部プロトコルです。WCPはコントローラのサービスインターフェイスで、WiSMとスーパーバイザ間の通信のみを行います。このインターフェイスは、WiSMモジュールのポート9と10に対応します。WCPは、UDP/IPを使用して、サービスインターフェイスのポート10000で動作します。

Q. WiSMカードのステータスを確認するにはどうすればよいのですか。設定内容をトラブルシューティングするにはどのようなコマンドが使用できますか。

A. WiSMモジュールのステータスを学習するには、次のshowコマンドを使用できます。

- show wism status
- show wism mod <slot no> controller <no> status

これら2つのコマンドの出力例を次に示します。

```
Router#show wism status
```

```
Service Vlan : 192, Service IP Subnet : 192.168.10.1/255.255.255.0
```

| WLAN | | | | | |
|------|------------|--------------|---------------|------------|---------|
| Slot | Controller | Service IP | Management IP | SW Version | Status |
| 3 | 1 | 192.168.10.3 | 40.1.3.10 | 3.2.78.0 | Oper-Up |
| 3 | 2 | 192.168.10.4 | 40.1.3.15 | 3.2.78.0 | Oper-Up |

```
Router#show wism mod 3 controller 1 status
```

```
WISM Controller 1 in Slot 3
Operational Status of the Controller : Oper-Up
Service VLAN : 192
Service Port : 9
```

```

Service Port Mac Address      : 0011.92ff.8722
Service IP Address           : 192.168.10.3
Management IP Address        : 40.1.3.10
Software Version             : 3.2.78.0
WCP Keep Alive Missed       : 0

```

Q.設定のトラブルシューティングに役立つdebugコマンドはどれですか。

A.これらのdebugコマンドは、WiSM設定のトラブルシューティングに役立ちます。

これらの debug コマンドは、ルータ (Sup720) の CLI から発行します。

- Router#debug wism wcp {data/errors/headers}
- Router#debug wism events

次の debug コマンドは、WiSM の CLI から直接発行できます。

- WiSM-A#debug wcp {packet/events}
- WiSM-A#debug wps

Q. WiSMカードのLEDパターンは何を示していますか。

A. WiSM前面パネルのLEDは、モジュールのステータスを示します。

| LED | Color/Description |
|----------------------|--|
| POWER | The POWER LED is green when the module is receiving power and is off when power is removed. |
| STATUS 1 STATUS 2 | The STATUS LEDs shows the status as follows: <ul style="list-style-type: none"> • Orange—Booting the bootloader and running diagnostics • Green (flashing)—Software is accessing the Compact Flash • Green—Controller is initializing • Off—Controller is running normally |

Q. Cisco WiSMをサポートするための最低限のソフトウェア要件は何ですか。

A. Cisco WiSMのサポートに必要な最低限のソフトウェアを次の表に示します。

| Component | Minimum Software Release |
|-------------------------------|--------------------------|
| Supervisor 720 | 12.2(18)SXF2 |
| Cisco WiSM | 3.2.78.4 or above |
| Cisco Secure ACS Server | 2.6 or above |
| Cisco Wireless Control System | 3.2.33.0 |

Q. Cisco WiSMモジュールがCatalyst 6500に正しくインストールされているかどうかを確認するにはどうすればよいのですか。

A. show moduleコマンドを使用して、WiSMモジュールがCisco Catalyst 6500にインストールされているかどうかを確認できます。

次に例を示します。

```
cat6506#show module
Mod Ports Card Type                               Model                               Serial No.
-----
 3   10 Wireless Service Module                   WS-SVC-WISM-1-K9                   SAD092504J8
 4   48 48-port 10/100 mb RJ45                   WS-X6148-45AF                      SAL08154UT3
 5    2 Supervisor Engine 720 (Active)           WS-SUP720-3BXL                     SAL0913827E
```

<snip>

```
Mod Online Diag Status
-----
```

```
3 Pass <
```

```
4 Pass
```

```
5 Pass
```

Q. Lightweight Access Point Protocol(LWAPP)を実行しているアクセスポイントを管理するための6500 WiSMカードを使用している場合、WiSMに障害が発生するとどうなりますか。管理機能だけでなく、全体が機能しなくなりますか。

A. WiSMのブレードには2つのコントローラがあります。、管理のポイントが2か所で提供されています。不具合が発生した場合でも、フェールオーバーできる別のコントローラがあります。

Q. WiSMブレードでリンク集約(LAG)を無効にする方法がありますか。ドロップダウンメニューからは(ディセーブルがなく)イネーブルにすることしかできません。

A. WiSMはLAGモードでのみ動作します。これをディセーブルにすることはできません。コントローラは、物理接続を検出し、それに応じてLAGを適用できます。

Q. WiSMカードは、Cisco IOSソフトウェアリリース12.2(18)SXF2が稼働するCatalyst 6500でサポートされていることを理解しています。Catalyst 6500スイッチのアップグレード手順に関する情報はどこで入手できますか。

A. 『[Catalyst 6000/6500シリーズスイッチのソフトウェアイメージのアップグレード](#)』では、Cisco Catalyst 6500シリーズスイッチのソフトウェアイメージをアップグレードする手順について詳しく説明しています。

Q. Cisco Catalyst 6500シリーズスイッチのトラブルシューティング情報はどこで入手できますか。

A. 『[Cisco IOSシステムソフトウェアが稼働するCatalyst 6500/6000シリーズスイッチのハードウェアおよび共通問題のトラブルシューティング](#)』では、Cisco IOSシステムソフトウェアが稼働するCatalyst 6500/6000スイッチのハードウェアおよび関連共通問題ののトラブルシューティングについて説明します。

Q. Catalyst 6500スイッチにインストールされた後、WiSMモジュールがオンラインにならない理由は何ですか。

A. [Cisco IOSシステムソフトウェアが稼働しているCatalyst 6500/6000シリーズスイッチのハードウェアと一般的な問題のトラブルシューティングの項](#)で、「オンラインにならないモジュールのトラブルシューティング」を参照してください解決します

Q.冗長プロトコルとして2台の6500シャーシ間でGateway Load Balancing Protocol(GLBP)を使用する場合、フェールオーバー用に2台のシャーシのそれぞれに1台のWiSMがインストールされている場合、クライアントが他のWiSMに接続できない時間は？

A.平均のLightweight Access Point Protocol(LWAPP)アクセスポイントフェールオーバープロセスは約1分で、ネットワーク設計によって異なります。1分間の遅延が生じる理由は、Lightweightアクセスポイントでは、セカンダリコントローラに加入するために、LWAPPの加入処理を実行する必要があるためです。

Q. Cisco WiSMのパスワードを忘れましたか。WiSMのパスワードをリセットするために使用できるパスワードの回復手順はありますか。

A. WiSMのパスワードをリセットするには、WiSMをデフォルト設定にリセットする必要があります。スタンドアロンのコントローラと同じ手順を実行します。コンソールポートからアクセスして、コントローラをリブートし、システムの起動時にブートローダに切り替えます。

システムから5つのオプションが表示されます。最初に5. Clear Configurationを選択します。これはパスワードをリセットできる唯一のオプションで、またその他のボックスを再設定する必要がありますことを意味します。次に、1. Run primary image (version 3.2.116.21) (active)を選択して、システムを再度起動します。以下が一例です。

```
Booting Primary Image...
Press <ESC> now for additional boot options...
```

```
***** External Console Active *****
```

```
Boot Options
```

```
Please choose an option from below:
```

1. Run primary image (version 3.2.116.21) (active)
2. Run backup image (version 3.1.87.0)
3. Manually update images
4. Change active boot image
5. Clear Configuration

```
Please enter your choice: 5
```

```
Please choose an option from below:
```

1. Run primary image (version 3.2.116.21) (active)
2. Run backup image (version 3.1.87.0)
3. Manually update images
4. Change active boot image
5. Clear Configuration

Please enter your choice: 1

Q. Lightweight Access Point Protocol(LWAPP)モードに変換された自律アクセスポイントがいくつかあります。これらのアクセスポイントと WiSM カードとの間で通信は行えますか。

A.はい、LWAPPで変換されたすべてのアクセスポイントはWiSMカードに接続できます。

Q.ネットワークでファイアウォールサービスモジュール(FWSM)とWiSMモジュールを一緒に使用できますか。

A.はい。この構成はサポートされています。Cisco WiSM と FWSM を統合する方法については、[『Cisco WiSM と Firewall Service Module の統合』](#)を参照してください。

Q. VPNサービスモジュール(VPNSM)とCisco WiSMの設定を統合するにはどうすればよいのですか。

A. VPNSMは、シスコ製品の既存のVPNポートフォリオをさらに拡張するための高性能VPNオプションとして導入されました。VPNSM は、Catalyst 6500 サービス モジュール ファミリの一部であり、Firewall Services Module (FWSM; ファイアウォール サービス モジュール)、Content Switching Module (CSM; コンテント スイッチング モジュール)、Intrusion Detection System Module (IDSM; 侵入検知システム モジュール)、Network Analysis Module (NAM; ネットワーク解析モジュール)、および Secure Socket Layer Module (SSL) で構成されています。

VPNSM と Cisco WiSM の設定を統合する方法については、[『Cisco WiSM と VPN Service Module の統合』](#)を参照してください。

Q. WiSMコントローラ間で設定されているモビリティグループが期待どおりに機能しません。プライマリ コントローラに障害が発生したとき、1 番目のコントローラに登録したアクセスポイント (AP) が 2 番目のコントローラにフェールオーバーしません。原因としてどのようなものが考えられ、問題をどのように修正すればよいですか。

A.モビリティグループの設定が正しくないか、不完全であることが、問題の最も一般的な原因である必要があります。この問題を解決するには、次のように、WiSM モビリティ グループを正しく設定する必要があります。

1. 設定されているモビリティ グループの名前が、特定のモビリティ グループに属するすべてのコントローラ上で同一である必要があります。モビリティ グループの名前は、大文字小文字が区別されます。
2. 各コントローラで設定されているモビリティ グループのメンバーリストには、特定のモビリティ グループのすべてのコントローラが記載されている必要があります。

これらの設定を行えば、フェールオーバーがシームレスに行われます。また、プライマリ コントローラの状態が元に戻ったときには、事前に登録された AP がそのコントローラにフォールバックされます。

モビリティ グループの詳細については、[『モビリティ グループ』](#)の設定ドキュメントを参照してください。

Q. Catalyst 6500スイッチのワイヤレスサービスモジュール(WiSM)はホットスワップ可能ですか。

A.はい、WiSMはホットスワップ可能なブレードです。つまり、スイッチの電源を切らずに挿入または取り外すことができます。Cisco Catalystシャーシには、他の統合サービスモジュールに加えて、1つ以上のWiSM、Supervisor Engine 720モジュール、冗長電源、冷却リソースを搭載できます。モジュールは、完全冗長バックプレーン経由で通信します。これにより、ホットスワップ可能な機能と容易なサービサビリティが実現します。

Q. WiSMでサービスVLANを設定する際のベストプラクティスは何ですか。

A.サービスVLANは、スーパーバイザエンジンとWiSM間の通信にのみ使用されます。

サービスVLANの設定時に使用するベストプラクティスの詳細については、『[スーパーバイザ720とCisco WiSM間の通信の設定](#)』を参照してください。

さらに、WiSMでサービスVLANを設定する際のベストプラクティスの一部を次に示します。

- WiSMがインストールされているスイッチでVLAN Trunking Protocol(VTP)が設定されている場合は、VTP設定からサービスVLANをフィルタリングします。これは、サービスVLANが同じスイッチにインストールされているスーパーバイザエンジンとWiSMモジュール間の通信用であるため、サービスVLANトラフィックをWiSMブレードを含むスイッチの外部に転送したくない場合があるためです。サービスVLANがVTPからフィルタリングされていない場合は、実際にサービスVLANをトランキングするため、トラフィックはローカルスイッチの外部に転送されます。
- サービスVLANは、WiSMが設置されているシャーシにのみ存在することを推奨します。同じシャーシに複数のWiSMがある場合、これらのWiSMモジュールは同じVLANを共有できます。ただし、シャーシが異なる場合は、各シャーシに独自のサービスVLANを設定する必要があります。

Q. WiSMコントロ「Lost Heartbeat with supervisor」 エラーメッセージが定期的に受信されます。このエラーメッセージが表示されるのはなぜですか。このメッセージを削除するにはどうすればよいですか。

A.このエラーメッセージが生成される理由はいくつかあります。WiSMの観点から見ると、最も一般的な理由は、スーパーバイザエンジンのサービスポートの設定が誤っていることです。

WiSMの場合、サービスポートはスーパーバイザ720とWiSM間の通信にのみ使用されます。

このエラーメッセージを削除するには、次の手順を実行します。

1. ネットワーク上のどこにも存在しないスーパーバイザエンジンのWiSMサービスポート用の新しいVLANを作成します。
2. コントローラのサービスポートにIPアドレスを割り当てるために、スーパーバイザ720でDHCPスコープの設定を作成します。注：Catalyst WiSMのサービスポートのDHCPスコープを作成することをお勧めします。または、セッション (セッションスロットXプロセス1または2) またはコンソールを直接WiSMに接続し、`configure interface address service-port`コマンドでスタティックIPアドレスを設定することもできます。
3. スーパーバイザエンジンで`wism service-vlan new VLAN ID`コマンドを使用して、新しく作成

されたこのVLANにWiSMサービスポートを割り当てます。

このVLANは、スーパーバイザエンジンがWiSMのサービスポートと通信するために使用されます。ここで説明する手順の設定方法の詳細は、『[スーパーバイザ720とCisco WiSM間の通信の設定](#)』を参照してください。

Cisco Bug ID [CSCsg59144](#)(登録ユーザ専用)も、このエラーメッセージに関連しています。

その他の理由としては、モジュールのシャーシへのバックプレーン接続が考えられます。これは、最初にWiSMを別のスロットに移動し、引き続き動作するかどうかを確認することで確認できます。モジュール自体に問題がある場合があります。しかし、これらは稀な状況です。

Q. WiSMは、ハイブリッドリモートエッジアクセスポイント(H-REAP)クライアントのRADIUSアカウントングレコードを送信しません。ワイヤレスクライアントがH-REAP対応のWLANにログインしても、RADIUSアカウントング統計情報は増加しません。RADIUSアカウントングは、非H-REAP WLAN (同じアクセスポイント) に接続するワイヤレスクライアントで動作します。これは、なぜですか。

A.これはCisco Bug ID [CSCsh64994](#)(登録ユーザ専用)が原因です。アクセスポイントがH-REAPとしてローカルでスイッチングされるService-Side Identifier(SSID)に設定されている場合に、RADIUSアカウントレコードが生成されません。この不具合は、コントローラバージョン4.0.217.0で解決および修正されています。

Q. WiSMログには、「Unable to delete username anonymous for mobile xx:xx:xx:xx:xx」す。一部のワイヤレスクライアント (特にExtensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secure Tunneling [EAP-FAST]で) が失敗します。これは、なぜですか。

A. EAP-FASTのような認証方式は、認証の2つのフェーズを経ます。

フェーズ1では、クライアントと認証、許可、アカウントング(AAA)サーバはProtected Access Credential(PAC)を使用して相互に認証し、相互認証されたトンネルを確立します。このPACは、AAAサーバを介してEAP-FASTによって動的にプロビジョニングおよび管理されます。つまり、認証の最初のフェーズでは、トンネルを確立するためにgeneric anonymous external identityを使用します。

フェーズ2では、クライアント認証は確立されたトンネルで行われます。クライアントは、クライアント認証ポリシーを認証および確立するために、元のユーザ名とパスワードを送信します。

この認証方式では、認証の最初のフェーズで元のユーザ名が隠されるため、コントローラでは認証されたユーザリストに正しいユーザ名を追加する方法がありません。そのため、コントローラは匿名ユーザ名を使用します。

このエラーメッセージが表示される理由は、Cisco Bug ID [CSCse53024](#) (登録ユーザ専用) が原因である[可能性](#)があります。

EAP-FAST認証タイプの詳細については、『[EAP-FAST](#)』を参照してください。

Q. WiSMでAPグループVLAN機能が有効になっていると、クライアントはDHCPサーバからIPアドレスを受信しません。「dhcpcd:xx:xx:xx:xx:xx:xx.x.x.x.DHCPDISCOVER:no free

leases ラーメッセージがDHCPサーバで表示されます。この理由として何が考えられますか。

A.これはCisco Bug ID [CSCse00268](#)が原因で、ワイヤレスクライアントがWiSMで有効なAPグループVLANでDHCP割り当てIPアドレスを受信できない場合があります。このバグによると、現在利用可能な回避策は、APグループ機能を実際に使用しないことです。

Q. WiSMを内部DHCPサーバとして設定しました。WiSMがDHCPサーバとして機能する場合、WiSMのDHCPバインディングをクリアするコマンドは何ですか。

A. Wireless LAN Controller(WLC)バージョン7.0.98では、WLCの内部dhcpサーバのdhcpリースをクリアできません。これを行うには、次のコマンドを使用します。

```
config dhcp clear-lease
```

次に例を示します。

```
config dhcp clear-lease all
```

Q. WiSMを最新のソフトウェアバージョンにアップグレードする予定です。WiSMをアップグレードする推奨手順はありますか。

A. WiSMのアップグレードは、4400シリーズコントローラのアップグレードに関する手順と同じです。1つのWiSMモジュールには2つの4400コントローラが含まれているため、両方のWiSMコントローラを個別にアップグレードする必要があります。また、バージョン4以降へのアップグレードを計画している場合は、バージョン4.0.217の最新バージョンにアップグレードすることをお勧めします。

Q. WiSMのデフォルトsyslogファシリティは何ですか。WiSMで使用できるロギングオプションは何ですか。WiSMでfacility local5またはlocal7 syslogメッセージを設定できますか。

A.システムロギングのWiSMの設定は、デフォルトでは無効になっています。show syslogを入力すると、現在のsyslogのステータスを表示できます。config syslogと入力すると、リモートIPアドレスまたはホスト名にログを送信できます。WiSMのロギングオプションは、選択する設定によって完全に異なります。使用できるログオプションは次のとおりです。

メッセージログレベル：

- 重大な障害
- ソフトウェアエラー
- 認証またはセキュリティエラー
- 予期しないソフトウェアイベント
- 重要なシステムイベント

WiSMのLocal5機能は、重要なシステムイベントのログレベルです。Local7は、デバッグメッセージであり、WiSMロギングファシリティを使用するオプションはありません。

Q. WiSMブレードは6509でハイブリッドモードをサポートしていますか。それとも、ネイティブモードがWiSMを実行する唯一の方法ですか。

A. WiSMブレードはハイブリッドモードではサポートされておらず、6509シャーシではネイティブモードだけが動作します。少なくともCisco IOSソフトウェアリリース12.2(18)SXF2以降が必要です。

関連情報

- [Cisco Catalyst 6500 シリーズ無線サービス モジュール](#)
- [Catalyst 6500 シリーズ スイッチ無線サービス モジュール インストールと設定ガイド](#)
- [Cisco Catalyst 6500シリーズワイヤレスサービスモジュールに関するQ&A](#)
- [Cisco ワイヤレス サービス モジュールと Wireless Control System の設定](#)
- [ワイヤレスに関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)